



多摩都市モノレール延伸部 (上北台～箱根ヶ崎)のまちづくり





東京都は、こどもの笑顔があふれる
社会の実現を目指しています。
この度、社会の主役である子供たち
が意見を出し合う「こどもワークショ
ップ」を実施しました。

本ワークショップを通じて子供たち
から聴いた大切な意見は、今後の東
京都の施策のバージョンアップにつ
なげていきます



1

part.1

子供達の声

01.子供からの意見

02.グラフィックレコーディング

03.参加者アンケート





子供たちの意見やアイデア

※実際の意見を基に記載しています

安心・安全について

- ・ 薄暗いところがないまちにしてほしい(小4)
- ・ 街灯をつくる(小4)
- ・ 安全の観点からも道は広くした方がいい。街灯がないと、夜は危ない(高1)

子育てについて

- ・ 子育てしやすいまちであることも大事(高1・高3)
- ・ 子どもがいっぱいいるといい(小4)

自然について

- ・ 安らぎがあるまち(高1・高2)
- ・ 自然のあるまちがいい(高3)



暮らしについて

- ・ 住んでいる人もいるし、観光している人もいるのがいい(高3)
- ・ コミュニティがあるのがいい(高3)
- ・ 人との繋がりはあったほうがいい(高3)
- ・ すみわけできるのがいい、観光(お金を落とす人)と住む人が行くところを分ける(高1)

遊び場について

- ・ 土地は余っているはず(高1)
- ・ 図書館。大きいの一つでなく、小さいのもたくさんほしい(小4)
- ・ 遊園地があるまち(小5)
- ・ キャンプ場(BBQできるところ)がほしい(小6)





子供たちの意見やアイデア

農業について

- ・ 地産地消すれば、地域の活性化にもつながる(小6)
- ・ モノレールで野菜を運ぶ(小6)
- ・ 箱根ヶ崎で作って立川で売る(小6)
- ・ 住んでる近くに家庭菜園があるといい(小6)

ブランド力について

- ・ モノレールをまちの誇れるシンボルに(高2)
- ・ 駅にシンボルを置いてほしい(高2)
- ・ ブランド力があつたほうがいい(高2)
- ・ 駅舎を玉造駅の駅ビルみたいにしてほしい(中1)



その他の声

- ・ バスの本数少ないと不便(小4)
- ・ おもしろい音楽がまちに流れているといい(小5)

東京都の受け止め

ワークショップでいただいた意見を踏まえて検討した延伸部エリアのまちづくり計画を、「多摩のまちづくり戦略」に反映しました(TAMAまちづくり推進プロジェクト)。

子育てしやすく、豊かな緑による安らぎがあるなど、地域の特徴を生かしたまちづくりや、特徴のある駅デザインの取組を進めていきます。



Q

A

2024年8月20日

アンケートにご協力ください

学年

性別

男 女

1. こどもワークショップに参加してよかったと思いますか
(一つ〇でかこんでください)

1 そう思う

2 そう思わない

3 どちらでもない

理由:

2. 今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか
(一つ〇でかこんでください)

1 そう思う

2 そう思わない

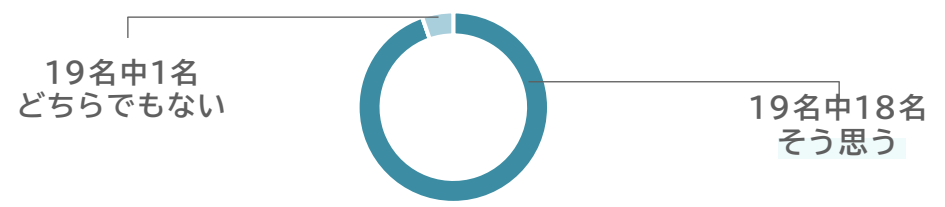
3 どちらでもない

理由:

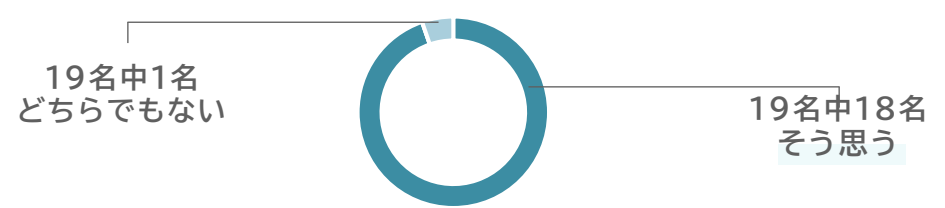
3. そのほか、今日のワークショップについて気づいたことや感想をおしえてください。

ありがとうございます！

1 こどもワークショップに参加してよかったと思いますか



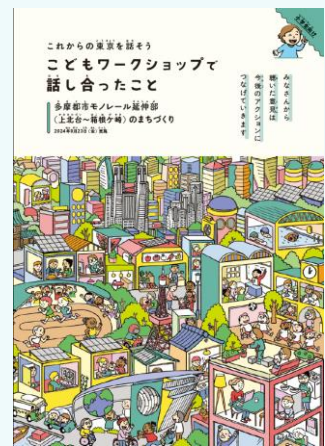
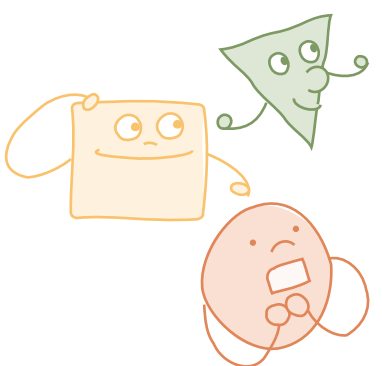
2 今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか



3 今日のワークショップで気づいたことや感想をおしえてください

みんなで話している時が一番たのしかった。また参加したい(小5)

このような取組をもっとやってほしい(高1)



参加者にフィードバックするための冊子も作成



2

part.2

運営方法

- 01.開催概要
- 02.タイムスケジュール
- 03.子供の意見を聴く工夫
- 04.当日の様子



テーマ	多摩都市モノレール延伸部(上北台～箱根ヶ崎)のまちづくり
テーマ説明	多摩モノレール延伸部のまちづくりについて、「子供に愛され続け、持続的に発展するまち」をコンセプトに検討している。より魅力の高いまちづくり計画とするため、当事者である子供の意見を聴き、検討していく。
担当局	都市整備局
開催日時	2024年8月23日(金) 13:00～15:30
開催場所	立川周辺貸会議室
参加人数	19名 小学生(4～6年) 10名(B班:5名、D班:5名) 中学生 5名(C班:5名) 高校生 4名(A班:4名)
意見を聴く内容	自分のまちのよいところ、もっとこうだったらいいのになと思うところ こうだったらいいな！理想のまち！

13:00



オープニング

メインファシリテーター・東京都関係者挨拶
ワークショップのテーマについて説明

14:10



ワークショップ 後半

こうだったらいいな！理想のまち！

13:20



アイスブレイク

どこから来たか挙手形式でアンケート
自分の住む街についてどの程度好きか100点満点で採点

14:40



全体共有

各テーブルの意見を発表

13:30



ワークショップ前半

自分のまちのよいところ
自分のまちのもっとこうだったらいいのになと思うところ

15:00



クロージング

関係者からの感想 事務連絡

10分休憩

15:20



撮 影

集合写真の撮影

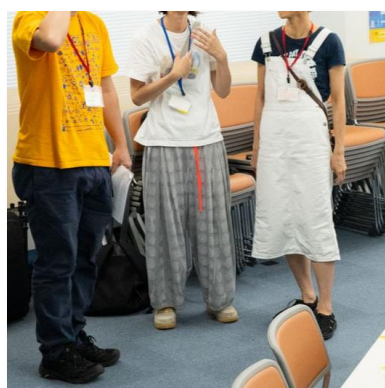
Point 01

子供が会場に到着した
時点から、ファシリテ
ーターやスタッフが積
極的に声掛けを行う



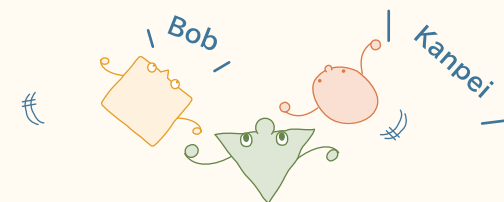
Point 02

子供が緊張しないよう、
大人はなるべくカジュ
アルな服装をする



Point 03

大人を含めて呼ばれた
い名前、ニックネーム
で呼び合う



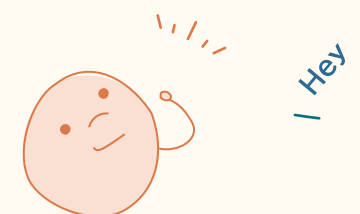
Point 04

3つの約束事を伝える

- ① 誰がなにを話したかは、誰にも分からないようにする
- ② すべて大切な意見だから、どんなことでも話してよい
- ③ みんなの声は、必ず東京都の人たちに届ける

Point 05

終了時、テーブルファ
シリテーターに伝えれ
ば、発言の撤回ができ
ることを伝える



メイン
ファシリテーター



全体のファシリテーションを担う。ワーク
ショップの司会進行を務めつつ、適宜各グル
ープを周り、参加者の発言を促す。
会場内で1名配置。

グループ
ファシリテーター

グループ内のファシリテーションを担う。グ
ループごとに、参加者全員の発言を促しな
がら、多様な意見を理解・整理していく。
グループごとに1名配置。



グラフィック
レコーダー

ワークショップ内での議論を
図や絵を多用しながら整理し、
視覚的に内容を振り返られる
よう記録する。
会場内で2名配置。



登場人物

ワークショップの
実施に関わった
大人達の紹介

進行補助者



グループ内での、議論のサポ
ートを担う。子供が意見を言い
やすくなる雰囲気づくりや、意
見の記録などを行う。
グループごとに1名配置。

そのほかにも…

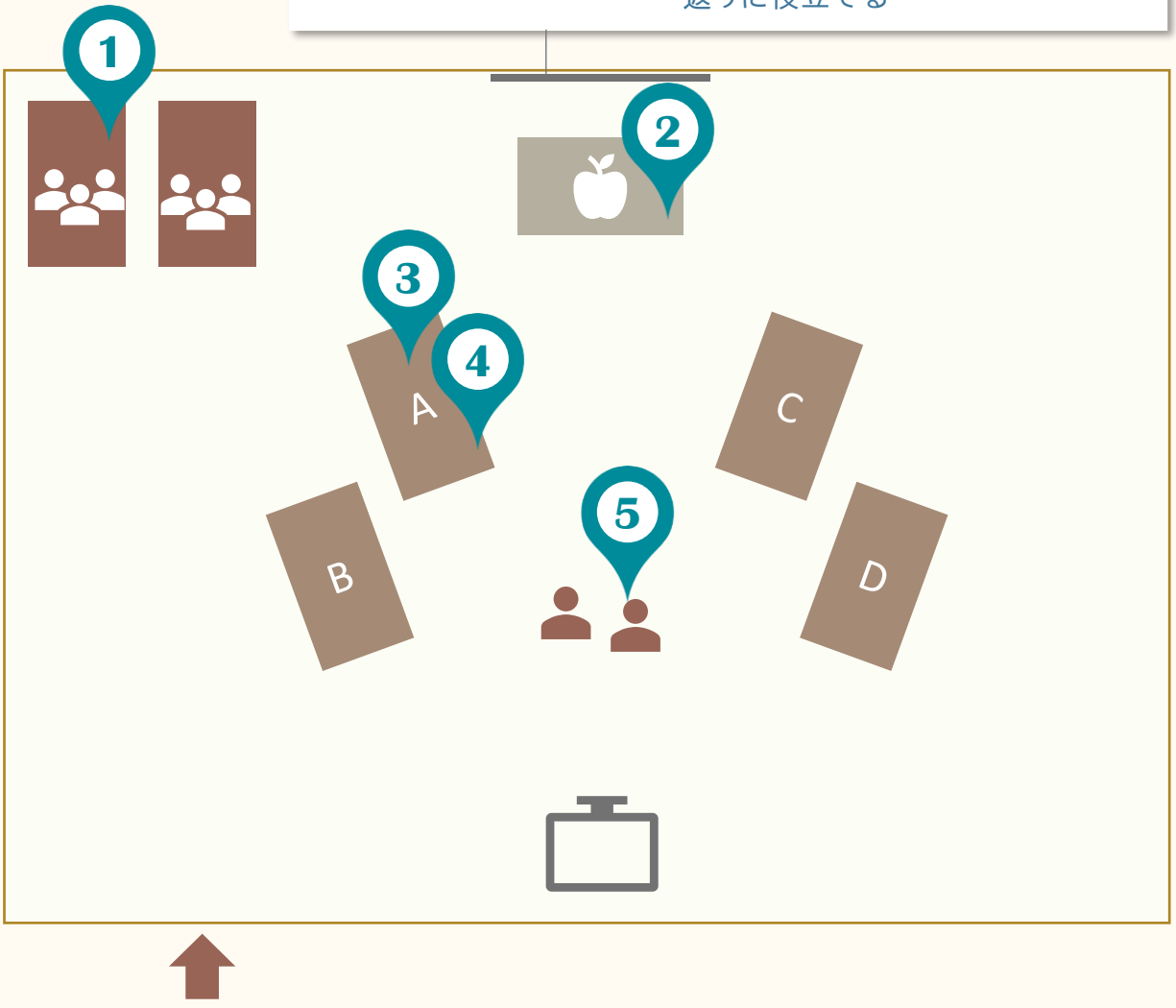
- ✓ワークショップのテーマについて説明する説明者
- ✓参加者の受付係
- ✓参加者を会場まで案内する誘導係 等

様々な関係者が本ワークショップの実施に関わりました



Topic!

グラフィックレコーディング
会議やプレゼンの内容を絵や図形でまとめる手法。議論の大事な点や結論をみえる化し、議論のふり返りに役立つ



1 大人(関係者)の人数は最小限。ワークショップ中は子供からなるべく見えないように配慮

2 ヒアリング中に飲食できるお菓子や飲み物を用意し、自由に話ができる雰囲気をつくる

3 子供が意見を言いやすいよう少人数(3~5名) + 大人2名(ファシリテーター、補助者)で班を構成

4 各テーブルにファシリテーターと補助者を配置し、安心して意見表明できるようサポート

5 メインファシリテーターや事業担当者がテーブル間を周り、子供たちの質問に答える



